

solitaire
ソリティアな日々

会員 安岡 隆司 <57期>

私は、昨年修習を終えたばかりだが、少なくとも、現在の修習生にパソコンは必須である。そして、弁護士になった現在も、私にとってパソコンは必需品であり、事務所の私の机にもパソコンがある。他の弁護士、事務員の方もパソコンを使っている。

パソコンをお使いの方はご存知だろうが、パソコンには買ったときから入っている、「ゲーム」がある。例えば、「ソリティア」「フリーセル」「ハーツ」「マインスイーパー」などである。

ご存知ない方のため簡単に説明すると、例えばソリティアは、トランプを使った一人遊び用のゲーム（そもそも、「ソリティア」とは一人遊びを意味する英語）で、一定のルールに則って、カードを捌ききれば（例えば、同じ絵柄でAからKまで並べれば）勝ち、できなければ負け、それだけである。他のゲームも同じように、単純なゲームである。

囲碁・将棋のように、布石や定石があり、研究すればするほど強くなる、といった類のゲームではない。慣れてしまうと、ほとんど頭を使うようなところがない。深さもない。ひたすら、パソコンの前で、マウスを「カチカチ。カチカチ。」とやっているだけである。

「何が楽しいんだ?」「ストレス解消なら、体の一つも動かした方がいいんじゃないか?」「だいたい、仕事にならないだろう?」などという声も、ちらほらと聞こえてくる。

たしかに、囲碁や将棋、はたまた麻雀などと比べて、面白いとは思わない。なぜ、ただでさえ長時間のデスクワークに加えて、無駄にパソコンとにらめっこしなければならないのか。しかも、やっている時間は、確実に起案が進んでいないではないか。

しかし、これが止められない。無意識のうちに起動していて、気付くと何ゲームかやっている。そういえば、実務修習の頃、検○庁では、1日に何十ゲームもやっていたような気がする。別に、友達がいないわけではない。ただ、ひたすら惰性でやっている。「依存症」と言ってよいかもしれない。



一時ゲームに興ずる? 筆者

我ながら、「なんだかなあ」と思うところもあるのだが、どうやら、こんな無意味な病気に罹患している患者が、少なからずいるようなのである。特に、最近修習を終えた人達は、パソコン必須で、比較的時間があり、しかし大っぴらに遊べない修習（特に実務修習）中に病んでしまうことが多いようだ。単純なゲーム程、思わず手を出しやすく、また、クリアして飽きるということがないので、依存率が高まるのだろう。

味方が少なくないようなので、最近を開き直って、こう思っている。別に、1時間も2時間もやれるゲームではない（1ゲームにはかかって1～2分で、10分もやっていればさすがに疲れて止める）し、周りに迷惑はかけないし、気分転換としては、ちょうどいいのではないかと。私の場合、考え事をしながらやっていることもあり、ふと良い考えが浮かぶこともある。

工作中にまで手を出すのは、お奨めできることではない。が、そんな「ソリティア依存」な人は少なくないようなので、挨拶代わりに同じ病気をもちかどうか聞いてみると面白い。また、悪い気分転換法ではないと思う。若い弁護士や事務員が、無意識に「ソリティア」に手を出していても、仕事に支障のない限り、一種の病気として見逃してもらえないだろうか、などと思っている。

本稿を執筆している私のパソコンは、使い始めてまだ半年ちょっとであるが、現在「505連勝」中のフリーセルが立ち上がっている。